



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

平成29年9月発行 no.18

menu

- 伯耆国「大山開山1300年祭」特集
- ブナ林のトンネルを歩いてみませんか!
 - 保安林制度に御理解を
 - 林業の労働安全管理について
- 日野郡のお米についての取組いろいろ
- 日野川の源流と流域を守る会の活動紹介
 - ツキノワグマを知って、事故を防ごう!

「天の川」日南町 あびれ 阿毘縁



ARアプリの画面



都合山たたら跡でのARアプリ体験



都合山たたら跡

03

都合山たたらARアプリ トレッキングモニターツアー

スマホ・タブレットを片手に、奥日野を代表するたたら遺跡「都合山たたら跡」を探検しよう！

遺跡周辺の5つのARスポットで端末をかざすと、まるでタイムスリップしたかのようにたたら製鉄操業時の再現CGが現れ、その仕組みや暮らしが学べます。遺跡へ向かう「たたら街道」沿いの溪流や滝めぐりも楽しみの一つ。

関西・広島方面の皆さんをターゲットとしたモニターツアーでは、AR体験と併せて、「たたらんち」や「たたら楽校（がっこう）根雨茶舎」「金持神社」など、町内のたたら関連スポットを巡り、歴史ロマンとアクティビティをまるごと楽しむ新しい観光の形を提案します。

☎ 日野町企画政策課

電話：0859-72-0332 FAX：0859-72-1484

※ARアプリ…スマホ・タブレット用の都合山たたら遺跡等に設置されているARスポットに端末をかざすと当時の「たたらんちの暮らし」がCGでリアルに再現され、たたら暮らしの体験ができるアプリケーション。

04

伯耆国たたら学入門講座& 視察研修ツアー



視察研修ツアー



伯耆国たたら学入門講座

伯耆国たたら顕彰会は、このたび県内の観光事業者を対象に「奥日野のたたら製鉄」の歴史やたたらに関する地域資源等について理解を深めていただき、より一層、観光客の方々に対して「たたら」の魅力伝えていただくこと、8月29日、9月7日の2回に分けて「伯耆国たたら学入門講座&視察研修ツアー」を行いました。

入門講座、視察研修ツアーの両日とも約20名の参加者があり、熱心に「奥日野のたたら製鉄」の魅力について、学ばれていました。

特集

伯耆国「大山開山1300年祭」



鳥取県の名峰「大山」では、奈良時代の718年に大山寺が開創されました。その後、山岳信仰の仏教化が進むにつれて寺院が増え、最盛期には100を超える寺院と3000人以上の僧兵をかかえていたと伝えられています。

2018年(平成30年)は開山から1300年目の年に当たり、これにあわせて、大山山麓地域では「伯耆国「大山開山1300年祭」」として、地域の活性化・盛り上げのため、様々な取組が行われます。今年も、伯耆国「大山開山1300年祭」プレイヤー。日野郡内での取組を紹介します。

01

奥大山御机茅葺小屋 葺替作業

大山の南壁側にあり、大山をより美しく雄大に魅せる観光スポットである奥大山・御机の茅葺小屋は、日本の原風景として、江府町を代表する撮影スポット、絵の題材として定着しています。

1300年祭を来年に控え、観光客の皆様方に鑑賞していただけるよう、9月から10月にかけて、茅葺小屋の修繕を行っています。併せて、この機会に茅を結ったり屋根に葺いたりする葺替作業の参加者の募集を行っています。



奥大山御机茅葺小屋

参加方法、活動日など、詳しくは江府町・奥大山物語 (<http://www.town-kofu.jp/kanko/>) を御覧ください。

☎ 江府町観光協会 御机茅葺屋根修繕係(江府町奥大山まちづくり推進課内)
電話：0859-75-3222 FAX：0859-75-3455

02

「星取県」大山フェスティバル ／宙の星(江府町会場)



美しい星空を堪能できる「星取県」大山フェスティバルの一環として8月27日(日)、江府町の休暇村奥大山芝生広場を会場に「星空ウォッチング」を開催しました。

当日は天気も良かったことから、奥大山周辺を取り囲む山々の稜線に切り取られた夜空を見上げると、星空が迫ってくるほどに感じられました。

☎ 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会
電話：0859-31-9371 FAX：0859-31-9368
公式ホームページ <http://www.daisen1300.org/>

日野郡3町三色
“たたらんち”
TATALUNCH

“たたらんち”大山開山1300年祭バージョン開発中

日野郡広域交流促進協議会では、平成30年の大山開山1300年祭に向けて、「たたらんち」大山開山1300年祭バージョンを提供するため地元食材にこだわったデザート開発を進めています。

“たたらんち”秋バージョン販売スタート!!

9月20日(水)▶12月19日(火)

日野郡の秋の味がギュッと詰まったご当地ランチ!! ぜひご賞味ください。

●各店舗のデザートの開発状況●

- 休暇村奥大山 大山ヨーグルトの手作牛皮包み
- 門脇旅館 自家製甘酒ふりん
- エミーズカフェ ブルーベリーチーズケーキ
- そば道場たたらや 自家製そばふりとカシスシャーベット
- レストランもり パンナコッタの自家製梅ソース添え
- リバーサイドひの 日野高生と共同開発中!!
- ふるさと日南邑 トマトとヨーグルトのシャーベット2種盛り

※たたらんちに関する情報は、ホームページをご覧ください。 <https://www.tatalunch.com/>

☎ 日野郡広域交流促進協議会事務局(日野振興局地域振興課内) 電話：0859-72-2082 FAX：0859-72-2072



ブナ林のトンネルを歩いてみませんか！



開山1300年を迎える大山(柗水～奥大山)で、ブナ林の中を歩くイベントが開催されます。

※詳細はホームページで随時更新していきます

保安林制度に御理解を

国や都道府県では、私たちの暮らしを守るために特に重要な役割を果たしている森林を「保安林」に指定しています。日野郡では、森林の約50%が保安林に指定されていますが、その機能の中で、山崩れや土砂の流出を防ぐ機能は、雨滴が落ちて来るときに森林の木や枝や落ち葉、下草が衝撃を和らげ、地表水の流速を減らすことにより発揮されるものです。保安林では、その働きが失われないように、個人が所有されている山林であっても「立木の伐採」「作業道の開設」「小屋の建築」等をする場合には、あらかじめ許可申請等をいただいています。

このようにして保安林は守られてきましたが、所有者の方々におかれても、その機能を十分発揮できるよう、維持管理に御理解と御協力ををお願いします。



保安林の伐採(間伐が基本)



作業道開設による保安林整備

☎ 日野振興局 農林業振興課 (林政担当)
電話:0859-72-2020
FAX:0859-72-2125

林業の労働安全管理について

日野郡内の林業生産活動は、木材生産量が10年前の約3倍になる等活発となっており、それに伴いこれに関わりのある人々が増えています。林業は、労働災害の発生割合が他産業に比べて非常に高率です。樹木の伐採作業を例にとると、樹木によっては伐倒方向が定まりにくく、他の木に掛かってしまうことが多く、とっさの場合でも待避するスペースが狭い等の災害リスクが重なるためです。このようなことから、林業事業主は個々の作業者に安全装備を与え、技能講習を受講させるだけでなく、現場のリーダーに臨機応変な安全指示を出させるよう意思疎通を図ることが必要です。

また、作業を受注した林業事業体は、自らの業務が不足する場合に他の林業事業体へ作業を請け負わせる場合でも、安全管理を受け手側まかせにするのではなく、緊急時の連絡体制の整備や安全な施工に常に目を配るなど、関係する者が協力して労働災害の起こりにくい環境を作っていくことが重要です。日野振興局では、林業事業体等に対して安全な作業、安全な装備について指導を行うとともに、林業災害を起こさないよう林業事業体や消防関係者と連携した取組を行っています。また、林業事業体等に対して安全装備の購入や安全技能講習の受講について助成制度も設けていますので、是非ご活用ください。



消防関係者の伐採訓練



作業員の緊急通報訓練

☎ 日野振興局 農林業振興課 (振興担当)
電話:0859-72-2021
FAX:0859-72-2125

平成29年 **10/28(土)午前**
一般車両の通行を規制し、ウォーキングイベントなどを開催する社会実験が行われます。
※強風、大雨、雷等の悪天候の場合は中止します。

⊗ **マイカー規制**
時 間：10月28日(土)7時～13時
区 間：柗水高原～奥大山スキー場(7.5km)
対象車両：マイカー及びオートバイ
※障がい者乗車車両(障がい者手帳の提示が必要)は規制対象外。



車を停めて、紅葉を楽しんでいただくために…

無料駐車場があります
P 大山寺(650台) P1
P 柗水高原(150台) P2
P 奥大山スキー場(400台) P3

無料シャトルバスが運行されます
《区 間》① 大山寺～柗水高原
② 柗水高原～鍵掛峠
③ 鍵掛峠～奥大山スキー場
《運行時間》7時30分～12時30分(15分間隔)
※シャトルバスは3区間の往復なので乗り継ぎが必要となります。

内容の詳細については、ホームページでも公開していますので、ご覧ください。HP <http://www.pref.tottori.lg.jp/250429.htm>
☎ 日野県土整備局(0859-72-2059)又は米子県土整備局(0859-31-9721)まで。

日野川の源流と流域を守る会の活動紹介

日野川の源流と流域を守る会では、日野川流域の自然環境を守り、日野川を恵まれた環境のまま、次の世代へ引き継ぐために様々な活動を行っています。本年度の活動を一部紹介します。



日野郡のお米についての

取組いろいろ

日野郡はおいしいお米の産地として広く知られていますが、それは肥沃な水田、日野川水系などの豊かな水、米作りに適した気候があったからというだけではなく、それらを活かした生産者の努力や創意工夫があったこそだと思います。そこで、それらの取組の一端を紹介いたします。

①日野郡全体での取組

日野郡のおいしい米をPRすると共に、生産者がお互いの米生産技術を競い合うことで技術の向上を目指しています。

日野川源流米コンテスト

皆さんもよくご存じのコンテストだと思いますが、今年で15回目、日野郡(旧溝口町を含む)全域で生産された米であれば、どなたでも対象となります。田植時期や肥料、水管理、減農薬など様々な工夫され、各生産者が一番うまいと思った米が出品されます。例年200から300点もの出品があり、米の一大イベントとなっています。

②特別栽培米によるブランド化

通常の栽培より農薬や化学肥料の使用を少なくし、更に食味を重視した米づくりが進められています。

日野特別栽培米研究会

研究会が始まった平成17年産米は、53名(31ha)でスタートしましたが、現在は145名(130ha)となっています。研究会の名前になっている「特別栽培」は通常の栽培に対し、農薬の使用回数と化学肥料(窒素)使用量を共に5割以下とする栽培方法で、鳥取県がその登録機関になっています(本研究会では農薬5割・化学肥料9割削減)。また、88項目からなる農業生産行程管理チェックリストの記入が義務付けられており、決められた栽培上のルールや農薬の安全使用などを確認しながら栽培を振り返り、栽培や意識のレベルアップを進めています。

江府町奥大山プレミアム米 特別栽培米研究会

江府町内の米を対象に、全国に通用するブランド化による地域活性化と所得向上を目指して平成25年に結成された比較的新しい取組です。単県の事業「がんばる地域プラン支援事業」が活用され、土づくりや食味にこだわった栽培で、平成28年11月には、第13回お米コンテストinしずおかで、鳥取県で初めて最高金賞に選ばれ、他県の産地から大きな注目を受けました。



③稲作を中心とした法人の連携

日野郡は比較的水田が維持管理されていますが、人口減少や高齢化などの理由で個人の担い手が減少する中、各町に集落営農法人等が設立され、それらの法人等が相互に補い合う新たな取組を行っています。

日野郡中山間営農 ネットワーク協議会

日野郡の主に米関係の集落営農法人や株式会社、大規模個人農家が集まって、昨年度17経営体で結成された協議会です。お互いに情報を交換し、相互に事業提



携を進め、新技術の研究や様々な提案を行いながら、自身の経営や地域の持続的発展を目指しているところです。今年6月に日南町印賀で、ラジコンボートによる除草剤散布の実演会を開催し、新技術の有望性を検討しました。

日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会

日野川流域の自然と希少生物について学び、美しい日野川を次世代へ引き継ぐ意識の啓発を図るため、日野高校の生徒12名を対象として、7月14日(金)に江府町でオオサンショウウオの生態調査と川の生き物調べを行う「日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会」を開催しました。江府町にある日野川支流で、生徒たちはオオサンショウウオを長年研究されているNPO法人日本ハンザキ研究所の理事長 岡田純氏に説明を受けながら捕獲したオオサンショウウオの体長や体重の計測を手伝い、追跡調査のためのマイクロチップの埋め込みを見学した後に、元の場所に放流しました。



岡田講師の説明を受ける生徒達



測定器にオオサンショウウオを移す生徒



熱心に川の生き物調べをする生徒

オオサンショウウオの観察が終わった後は、タモ網を使って川の生き物調べを行いました。サワガニやカワゲラなどきれいな川にだけ棲む生き物が次々と見つかりました。この学習会によって、生徒たちは日野川の豊かさを実感し、日野川の自然環境と生き物について学んだ様子でした。今回の学習会がオオサンショウウオの生態解明と美しく豊かな日野川の自然環境の継承に貢献することを期待しています。

※今回の調査は関係機関の許可を得て行っています。

日野川一斉清掃&海岸植物等学習会

国土交通省が「河川愛護月間」と定める7月に合わせ、地域の住民やボランティア団体などが毎年7月の第1日曜日に清掃活動を行う「日野川一斉清掃」に参加しました。参加者は美しい河川景観や環境を守るため、ふるさとの日野川の恵みに大きな感謝を込めて、清掃ボランティア活動をしました。清掃の後は、鳥取県西部希少野生植物保全調査研究会の藤原文子さんを講師に迎え、日野川河口から日吉津海岸に自生する植物について学ぶ「海岸植物等学習会」を開催しました。河口近くの海岸には、ウンランやハマゴウ、ハマボウフウ等、多種多様な植物約12種類を実際に見つけ解説してもらいました。参加者は熱心に質問をしたり、植物の触感や香りを楽しみつつ、熱心に観察しました。

今回の清掃活動と学習会が美しく豊かな日野川の自然環境の保全に繋がることを期待しています。



初めて見る植物の触感を確かめる参加者



親子で協力して清掃をする参加者

☎日野振興局 地域振興課
電話:0859-72-2081
FAX:0859-72-2072

☎日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

ツキノワグマを知って、事故を防ごう！

昨年度、鳥取県内において、ツキノワグマと思われる野生動物による人身事故が4件発生しました。人身事故はすべて県東部地区で発生したのですが、日野郡内においても、近年、ツキノワグマの目撃情報が寄せられています。秋は、クマが冬眠に備えて、食べ物を求めて活発に行動する季節となります。十分に注意して、事故を防ぎましょう。

ツキノワグマはこんな動物

クマと聞くと、人の2倍も3倍もあるような大きな動物だと思いがちですが、日野郡に出没しているツキノワグマは、成獣でも人と同じくらいです。



【全長】

オス 1.2～1.5m

メス 1.1～1.3m

幼獣 0.6～1.0m

- 胸にある白い三日月形の模様が特徴的
- 繁殖能力は低く、絶滅の恐れがある
- 朝や夕方に活発に行動する
- 犬並みの優れた嗅覚 ●木に登れる強い腕力
- 高い運動能力(100m6秒台の走力) ●高い学習能力

〈ツキノワグマの1年〉

12月		
1月		
2月	冬眠	出産
3月		
4月		
5月		
6月	繁殖	
7月		子別れ
8月		
9月		
10月	冬眠準備	
11月		

冬眠明けは空腹なのでエサを探して山中を移動。山菜採りの最中に遭遇する可能性があります。

繁殖期はオスグマの行動範囲が広がるので、様々な場所で遭遇する可能性があります。母親と別れてすぐの子グマは好奇心が強いので注意が必要です。

脂肪を蓄える時期。ドングリ、栗、山ブドウなどを主に食べます。柿などを求めて人里近くに出現することがあります。

！ 人身事故に遭わないために

クマは、警戒心が強く、普段は人を避けて行動します。しかし、驚いた時などは攻撃に出ることがあります。



日野郡内で撮影された親子グマ

まずは、遭遇しないようにすることが重要！

- 朝・夕の薄暗い時間の行動を避ける。
- 複数人で行動する。
- ラジオや鈴など音を出して、人の存在を知らせながら行動する。

もし遭遇したら、クマを興奮させない！

- 落ち着いて、大きな声を出さず、目を離さず、ゆっくり後退する。
- イノシシやシカのわなにかかっているクマを見つけた時は、近づかず、通報する。

もし攻撃してきたら…

- 攻撃を避けられない場合は素早く防御姿勢を取り、頭・首を守る。



！ クマを引き寄せないことも大切

クマはエサを見つけると、大量に、単一的に、無くなるまで食べ続けます。そのため、食べ物があることを覚えられると、かなり執着するので、引き寄せないようにすることが重要です！

誘引物の除去

- 住居の周りや畑に生ごみや収穫しなかった作物を放置しない。
- 柿や栗などの実は早く収穫する。また、収穫しない果樹は伐採する。
- 住居周辺のハチの巣は取り除く。
- 山野にある墓地の供え物は持ち帰る。
- ペットや家畜のエサの管理は徹底する。

クマの侵入防止

- 農作物など守る対象を電気柵で囲う。

クマを目撃したら、すぐにご連絡ください。

【通報先】 日南町役場 農林課 0859-82-1114
 日野町役場 産業振興課 0859-72-2101
 江府町役場 農林産業課 0859-75-6610

〒 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399